

「経済学とゲーム理論」

経済学研究科教授・岡田章

新入生の皆さん、入学おめでとう。いま、私たちの経済や社会はグローバル化と情報化が急速に進み、国の内外で大きな変化に直面しています。金融危機や環境問題など現代社会のさまざまな問題を解決するために経済学が果たす役割はますます大きくなっています。これまで高校の授業では、経済は「文系科目」の一つと見なされ、さまざまな用語や概念を暗記することが多い学問と思っている人も多いかもしれません。大学で学ぶ経済学の授業では、皆さんが想像していた以上に数学や理論モデルが頻繁に登場します。これは、現代のさまざまな経済問題を解決するためには、複雑な経済現象の背後にある人間行動と経済のメカニズムを深く研究し、経済学の基礎理論を身につける必要があるからです。現代の経済学の基礎理論の一つにゲーム理論があります。過去15年間のノーベル経済学賞の半数近くはゲーム理論とその関連分野が受賞しています。ゲーム理論の基本的な考えは、私たちの社会や経済は、複数の行動主体が一定のルールを守りながら、それぞれの目的を実現するために競い合い協力し合う一つの「ゲーム」であるというものです。ゲーム理論の授業で皆さんと会えることを楽しみにしています。最後に、一橋大学で学ぶ4年間で皆さんにとって楽しく有意義なものであることを心より願っています。